

県内の産業廃棄物最終処分場の残余容量と残余年数

A 管理型最終処分場 → 遮断型最終処分場でしか処分できない産業廃棄物以外のものを埋立処分。廃油、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物のふん尿、燃え殻、ばいじん、汚泥など。

項 目		① (公財)宮城県環境事業公社	② (株)ジャパנקリール	③ 仙台環境開発(株)
1 施設の概要	(1) 処分場の種類	管理型	管理型	管理型
	(2) 埋立開始年月日	昭和 54 年 7 月	平成 26 年 11 月	平成 13 年 11 月
	(3) 埋立完了予定年月日	平成 38 年 3 月	平成 44 年 4 月	平成 33 年 11 月
	(4) 埋立地面積	614,280m ²	45,921m ²	166,397m ²
	(5) 埋立容量	10,726,000m ³	1,041,919m ³	4,916,285m ³
	(6) 遮水シートの有無	有	有 (6 層構造, 自己修復型)	有 (5 層構造 : PVC1.5mm + FPA2.0mm)
	(7) 浸出水処理方式	活性汚泥+凝集沈殿処理	生物処理+凝集沈殿処理	生物処理+化学吸着処理+凝集沈殿処理
	(8) 処理能力	500m ³ /日	400m ³ /日	220m ³ /日
2 埋立状況 (H30.3.31 現在)	(1) 埋立済み容量	9,973,362m ³	292,598m ³	3,266,018m ³
	(2) 現在の残余容量	752,638m ³	749,321m ³	549,892m ³
	(3) 年間埋立量	147,240m ³	69,872m ³	234,841m ³
	(4) 埋立残余年数	約 5.1 年	約 10.7 年	約 2.3 年
3 埋立終了時期	平成 38 年 3 月	平成 44 年 4 月	平成 33 年 11 月	
4 拡張計画の予定	未定	予定あり	予定あり	

※日本製紙(株)は、主に自社の廃棄物のみを処分を行っていることから一覧から除外している。

B 安定型最終処分場 → 有害物質や有機物等が付着しておらず、雨水等にさらされてもほとんど変化しない安定型産業廃棄物を埋立処分。廃プラスチック類、ゴムくず、金属くずなど。

項 目		④ 大青工業(株)	⑤ (株)宮城衛生環境公社	⑥ (株)鹿野建設	⑦ 矢本クリーンセンター(株)
1 施設の概要	(1) 処分場の種類	安定型	安定型	安定型	安定型
	(2) 埋立開始年月日	平成 9 年 9 月	平成 4 年 2 月	昭和 60 年 5 月 31 日	昭和 63 年 5 月
	(3) 埋立完了予定年月日	未定	平成 35 年 9 月	平成 36 年 3 月 31 日	平成 37 年 3 月
	(4) 埋立地面積	—	—	12,454m ²	18,441m ²
	(5) 埋立容量	1,659,791m ³	589,095m ³	178,268m ³	234,840m ³
	(6) 遮水シートの有無	有 (1 重シート)	無	無	無
	(7) 浸出水処理方式	有	無	無	(沈殿池方式)
	(8) 処理能力	100m ³ /日	—	—	—
2 埋立状況 (H30.3.31 現在)	(1) 埋立済み容量	1,504,225m ³	477,166.3m ³	168,166.34m ³	216,602m ³
	(2) 現在の残余容量	155,566m ³	111,929m ³	10,101.66m ³	18,238m ³
	(3) 年間埋立量	28,233m ³	10,540m ³	6,783.20m ³	2,200m ³
	(4) 埋立残余年数	約 5.5 年	約 10.6 年	約 1.5 年	約 8.3 年
3 埋立終了時期	平成 32 年頃	未定	平成 36 年 3 月	平成 37 年 3 月	
4 拡張計画の予定	予定あり	未定	予定あり	予定あり	